



# 17 段目の奇跡

- 手順1 右の1段目の□に、自分の好きな一桁の3種類の数を入れて下さい。3つの同じ数にならないようにしましょう。  
例：1 3 8のように違った数の方が楽しめます。
- 手順2 2段目の□にそれぞれ1を入れて下さい。  
今回は、私の方で記入しておきます。
- 手順3 3段目は、1段目と2段目の数の和を求め、その一の位の数を書きます。
- 手順4 4段目は、2段目と3段目の数の和を求め、その一の位の数を書きます。5段目も同じように3段目と4段目の数の和を求め、その一の位の数を書きます。  
この操作を17段目まで行います。  
3列とも17段目まで全て計算して下さい。  
するとあなたは・・・

1段目			
2段目	1	1	1
3段目			
4段目			
5段目			
6段目			
7段目			
8段目			
9段目			
10段目			
11段目			
12段目			
13段目			
14段目			
15段目			
16段目			
17段目			

詫間中学校に赴任したときに「私は、何の教科の先生だと思えますか？」と聞いたのを覚えていますか。3年生が見事に正解してくれました。私は、「数学」の教師なのです。そこでみなさんに今回、「17段目の奇跡」を紹介します。何人かの生徒には、「走れメロス、全力で走っていなかった？」話も数学的に説明したことがありますよね

この大切な期末テスト発表中にいきなり何をさせるんだ～と思っている人もいると思いますが息抜きに取り組んでみて下さい。計算ミスさえしなければきっと「なんで？ええ～～！！」という奇跡が起こるはずですよ。

17段目で奇跡を体験した人に考えてほしいことがあります。いくつかあるのですが、今回は、私の方から2つあげてみます。（本当は、自分で考え、気づくようになることがいいのですが）

- ① 17段目になぜ（どうして）奇跡が起こったのか？
- ② 17段目以外に奇跡は起こっていないのか？

1年生には少し難しいかもしれませんが、これはすべて数学を用いて説明することができるのです。だから「17段目の奇跡」と言っていますが、奇跡でも何でもなく、きちんと説明がつくのです。この説明を知りたい生徒は、こっそりと校長室に来るか、先生方にこっそりと聞いてください。そのために必要なことは、まず、自分なりに考えてみることです。自分で考えずに説明を聞いても「ああ～なるほど！！」という数学の醍醐味が味わえないのです。「ああ～なるほど！！」と実感した人は、きっと次の2つのことが起こります。

- ① 友達や家族に言いたくて仕方なくなる。
- ② 17段目以外の奇跡も説明できるのではないかと意欲がわいてくる。

なぜ「数学」を学ぶのかと聞かれ、私が答えているのは、「物事を論理的に考え、説明できるようになるため」です。ぜひ数学を楽しんで「数楽」にしていってください。